



年 頭 所 感

新年のご挨拶

大阪大学工業会会長 鈴木 胖

新年明けましておめでとうございます。旧年中は本会の活動に多大のご協力とご支援をいただき、まことに有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1919年に大阪高等学校の同窓会「大阪工業倶楽部」として発足した当会は、1971年大阪大学工学部の時代に「社団法人大阪工業会」として文部省の認可を受けました。2012年には法律の改正を受け「一般社団法人」に移行しました。本年で年齢に例えれば98歳を迎え、現存の卒業生、在校生の人数は約4万人にのぼり、大阪大学の部局等の同窓会の中でも最大の実在です。

当会は移行後の定款に従い、公益継続事業と共益事業（同窓会活動）という二つの事業を実施しています。

公益継続事業としては、

- (1) 各種講演会の開催及び援助、数学講座の開催、工場や施設・工事現場の見学、科学技術展示会、ホームページ（Techno-Net Web）掲載による情報の伝達・啓発活動等の事業。
- (2) 海外交流活動の援助・支援、大学の科学技術に関する調査・研究活動に対する援助（寄附）、大阪大学工業会賞の授与等の事業。これらの援助・支援、工業会賞の授与の対象は工業会の会員に限られます。
- (3) 研究・科学論文誌「TECHNO NET」の刊行（年4回）。
- (4) 企業の協力を得て各種セミナーを開催し、会員・非会員を問わず学生のキャリア教育の推進。

共益的事業としては同窓会活動、すなわち会員を対象とした総会（年1回）、理事会（原則年2回）、支部総会（年1回）、支部役員会（原則年2回）等の開催。

当会上記の事業活動は卒業生、在校生、現任教員のうち会費を収めていただいている方すなわち会員により維持されています。これまで会費は正会員、学生会員向けに複雑な会費規定を設けていただいていたましたが、諸

般の事情を考慮して、平成27年度からは入会費を5万円とし、以後会員は会費不要な終身会員となっていただくこととしました。すでに正会員、学生会員になっておられる方の年会費は従来通りですが、終身会員を望まれる場合は5万円をいただきます。

当会の事業を活性化するには、大学との連携を一層緊密にし、学生や教職員に大学の教育研究活動への工業会の支援を身近に感じてもらうことが基本的に重要であると考えています。現在、工学研究科は工学部地区にある従来の福利厚生会館（おもに食堂）の耐震改修工事を行い、隣接して6階建ての吹田福利交流研究棟（正式名称は「センテラス〈Central Terrace〉」になる予定）を新たに建設しています。当会ではこれを機会に、大学との連携をさらに強化し、活動の新しい展開を図ることを狙い、大阪大学未来基金を通して吹田福利交流研究棟の建設を支援（寄付）するとともに、大学当局の了承を得て当会事務局を同棟内に置くことといたしました。

交流研究棟は6階建て、延床面積約3,700㎡の規模で、1階は食堂の拡張部分、2階は売店、コーヒーショップなど、3階は交流スペース・サロン、4～6階はオープンラボが設けられます。総工費は約13億円で、建設は順調に進み、2017年3月の完成、4月グランド・オープン予定です。当会事務局は3階の交流スペース・サロンの1画（約30㎡）に置かれ、新学期の始まりまでに移転を終了するよう準備を進めています。また、新学期から吹田において当会の新しい事業を展開することも計画中です。

ご報告をかね、本会の活動への皆様の一層のご支援・ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

（電気 昭和33年卒 35年修士）



年 頭 所 感

新春のご挨拶

大阪大学・大学院工学研究科
工学研究科長・工学部長 田 中 敏 宏

平成29年の年初にあたり謹んでご祝詞申し上げます。
大阪大学工業会の皆様のご多幸を祈念申し上げます。また、常日頃より大阪大学工業会の皆様方からの温かいご支援を頂戴いたしておりますことに対し、改めて厚く御礼申し上げます。

大阪大学工学研究科は1896年に官立大阪工業学校が中之島に開設されてから数えると、昨年2016年に120周年を迎えました。還暦を2回繰り返したことになります。官立大阪工業学校の後、大阪工業大学、大阪帝国大学工学部を経て、戦後、大阪大学工学部になりました。1回目の還暦を迎えたのは1956年で、その後、日本の高度経済成長期に突入して世の中の工業化が進み、多くのエンジニアが本学工学部を巣立ち、社会で大いに活躍されて今日に至っています。今年は2回目の還暦を迎えた直後にあたり、次の60年を見据えてさらなる発展を遂げるために、今何をすべきかを考える年と位置付けています。官立大阪工業学校が設立された年を起点とし、合計180年先を見通したとしたら、その途上の120年が過ぎたという位置づけです。上述の180年という時間の長さですが、最近、同様の長さを話題にしているあるコンセプトが提唱されています。それは、大阪大学の環境イノベーションデザインセンターに所属していた先生方が提唱された「フューチャーデザイン」（“フューチャー・デザイン”、西條辰義著、勁草書房）という考え方です。これは、7世代先の未来の「将来世代」を仮定し、その世代から振り返って「今」を考え、7世代先にも持続的社會が発展維持をするためには、「今」何をすべきかを考えるというコンセプトです。この7世代は、例えば、25、6歳で次の世代が生まれると考えるとほぼ180年になります。工学研究科がこれまで120年間にわたり発展し続けたのは、多くの卒業生の皆様が大阪大学の内外で大いに活躍され、これまでに多大なるご支援・ご協力をいただいたお蔭であり、これまでのひとつひとつの活動の積み重ねに対する世の中の評価の上に現在の工学研究科・工学部が成り立っています。

そこで、この120周年を一つの節目として位置付けるた

めに、工学研究科のキャンパスの中心に位置する福利厚生棟を改築・増築することにいたしました。大阪大学工業会の皆様や、多くの卒業生の方々からのご寄附をいただき、昨年からの改築・増築工事を進めており、同福利厚生棟は今年3月に完成し、4月から新たな活動のための利用を開始する予定です。大阪大学工業会様から頂戴しました多大なるご寄附・ご支援に対しまして、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

新たな福利厚生施設は名称公募により“センテラス Central Terrace”と名付けられ平屋部分に2つの食堂ができ、北側の棟は6階建てとなり、1階に3つ目の食堂を設置し、2階が売店・サービスカウンターなど、3階には各種会議・講演会などができるサロンを設置いたします。3階の一角には、大阪大学工業会の事務所が入居予定です。4～6階には産学連携の場として大阪大学の特徴となっております共同研究講座や協働研究所が入居予定です。上記3階のフロアでは、学内の教員・学生のみならず、外部の企業等からのお客様、さらには上記大阪大学工業会を通じて卒業生の皆様等々、様々な方々が情報交換・意見交換ができる場にしたいと考えております。

また、2016年4月1日に「オープンイノベーション教育研究センター」を工学研究科付属センターとして立ち上げました。同センターは大阪大学に蓄積される多様な研究シーズや教育プログラムを基盤としつつ、オープンイノベーションの推進の拠点として、特徴的な教育研究活動を広く展開していく予定です。長期的な視点に立った人材育成こそが大学の使命であると考え、上述のフューチャーデザインの長期的な構想に立った上で、数年～10年単位の教育・研究プロジェクト等を考えていきたいと思っています。オープンイノベーションを基本コンセプトとして皆様方とのオープンな情報交換を真髄としていますので、皆様方からの色々ご意見を頂戴できればと思っています。皆様のご支援・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

（冶金 昭和55年卒 57年前期 60年後期）



年 頭 所 感

新年のご挨拶

大阪大学同窓会連合会 会長
大阪大学元総長・名誉教授

熊 谷 信 昭

大阪大学工業会の会員の皆様 新年おめでとうございます。

昭和6年（1931年）に医学部と理学部のたった2つの学部だけで僅か86名の新入学生によって発足した大阪大学は今年で開学86年目を迎え、名実共に我が国を代表する屈指の大学として高い評価を受け、卒業生やご関係の皆様も国内外の各界・各分野でめざましい活躍をしておられますことはまことにご同慶の至りです。

その大阪大学には、現在、長い歴史と最大の規模をもつ大阪大学工業会をはじめ、部局毎、学部毎、研究科毎、系毎、学科毎、等々の多くの同窓会組織がありますが、今から12年前の平成17年（2005年）に、これらの同窓会の連合体として大阪大学同窓会連合会が結成され、その結成式が7月25日、天神祭の日に、船渡御の阪大船の船の上で盛大に行われました。そして、全同窓生と教職員、関係者らが部局や学科等の枠を越えて、さらなる一体感をもって一層の交流・親睦と連携・協力の輪を拡げ、大阪大学と全同窓生の益々の活躍と発展に資することを目指しています。

この大阪大学同窓会連合会には、大阪大学と統合して日本最大の外国語学部となった旧大阪外国語大学および大阪大学外国語学部の同窓会組織である「咲耶会」の会員や、同じく大阪大学教養部の母体となった旧制の大阪高等学校や浪速高等学校の卒業生のほか、NTTみおつくし会（会員数約1,700名）やトヨタ阪大会（会員数約1,100名）など色々な企業毎の阪大同窓生による「職域同窓会」の皆さん、さらには大阪大学に留学しておられた外国人元留学生達による「国際同窓会」（会員数約700名）の会員なども構成員として含まれています。

また、海外にも、私が総長の時に、主として工学部に留学していたタイの留学生達を中心として出来た、海外の同窓会としては最も古い歴史をもつ大阪大学タイ同窓会をはじめ、北米同窓会や上海同窓会、欧州同窓会などが結成され、それぞれに活動しています。

昨年9月には設立10周年を迎えられた北米同窓会がカリフォルニア州のキャンベルで、北米の各地や日本などからも西尾章治郎総長をはじめ大勢の同窓生やご関係の皆様がお集まりになって盛大に開催されました。

工業会の皆様方もお仕事で海外出張をなさる時や、ご家族で外国に旅行されるような時には、もし日程が合えば、あるいは出来れば多少日程を調整してでも、これらの海外の同窓会にご家族共々出席なされると、思いもかけずなつかしい旧友に巡り会えたり、その国や地域の最新の情報などを紹介してもらえたりして、大変楽しく、かつ有意義であろうと思います。

このような、阪大の同窓会に関することについては、大学本部の「卒業生室」という係にお問い合わせいただければ色々な情報が得られると思います。

大阪大学の卒業生や在学生、教職員やご関係の皆様方が、輝かしい歴史と伝統の上に立って常に活力溢れる若々しい大学として発展し続ける大阪大学と共に連携・協力して、世界を舞台にさらに一層ご活躍下さいますことを願っています。

新しい年が大阪大学工業会にとりましても会員の皆様にとりましても、より良い年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

（通信 昭和28年旧制卒）

新年を迎えて

大阪支部長 藤 井 宏 一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

- 世の中でもっとも柔らかいものが、世の中でもっとも堅いものを突き動かす。
- 形の無いものが、すき間の無いところに入って行く。

老子はこのことから、無為が有益である事を知りました。

不言の教え（言葉ではなく、自然に体得できるような教え）と、無為の益とは、世の中でそれに匹敵するものは、ほとんどないということです。

世の中は強いものが支配しているように見えますが、実は柔軟なるものが強いものを導いていきます。

空気や水のように、硬くて隙のないものにでも入り込んでいき、いつしか風化させ崩してしまうようにです。

それらは何もしていないようにみえて実に大きな役割をはたしているのです。

このように目に見えない静かな働きで、何もしていないようで実は深く役に立っていることがあります。

世の中ではなかなか認められることが無いのですが、他に比べようもないくらい尊い行いがあるのです。

大いなる完成は欠けているように見えるが、その働きは衰えることはありません。

大いなる充実は空虚のように見えるが、その働きは窮まることはありません。

大いなる直線は屈折しているように見え、大いなる技巧は拙劣なように見え、大いなる弁舌は口べたのように見えることがあります。

活発に運動をすれば寒さに勝ち、じっと静かにしていれば暑さに勝つ。

さっぱりとして静かであれば世の中の模範となるのです。

（冶金 昭和26年卒）



新年を迎えて

東京支部長 池 田 博 昌

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご清祥にて穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。支部長をお引き受けして16年目に入ります。支部の運営に当たり、会員の皆様の温かいご理解・ご協力に感謝しております。

去年は、ノーベル生理学・医学賞を大隅良典氏が受賞されるという快挙があり、誠におめでたいことでした。また、プロ野球では廣島と日本ハムの優勝、大相撲では琴奨菊と豪栄道の優勝、日本女子オープンでは17歳の高校生の優勝など珍しい記録がありました。ただ、熊本の大地震、東北の台風直撃など自然の猛威に大きな被害を受けられた方々には深くお見舞い申し上げます。小池百合子東京都知事、蓮舫民進党代表の登場、衝撃の米国トランプ大統領の登場など世界は大きく変わりつつあります。今年が大きな発展の年であることを祈り、明るい健康な生活を維持したいものです。

5年前に発足した大阪銀杏技術士会（阪大技術士会）は、着実な進展をしており、会員数は増加しており、100名を超えるまでになりました。阪大卒業者の中で技術士の資格をお持ちの方、資格取得に関心をお持ちの方は会員登録を頂くと幸甚です。皆様のご理解をお願いします。

OKC東京支部の活動に関しましては、去年の総会では西尾章治郎総長にご講演頂く機会が持て会員一同感銘を受けました。また、月例の夕方の「二日会」、昼食会としての「二水会」はいずれも会員相互の懇親を深める会として着実に開催しております。二日会には平均18名、二水会には平均10名の参加があり、毎月賑やかに話題が広がっております。二日会の日の午後には実施している「囲碁同好会」も毎月盛況です。四大行事と称している「総会」「ビール会」「秋の集い」「新年会」では最近65名程度のご参加を頂いております。「ゴルフ同好会」については春秋と開催してきており、今年には105回を迎えるまでになり、参加者の若返りも進んでおります。さらに、経済学部・法学部OBとの懇親ゴルフも着実に進展しており、当支部からは16名が参加しております。今年も1月初旬に予定しております。「旅行同好会」も軌道に乗ってきており、北海道新幹線の函館への開通を記念して「下北半島・函館・江差旅行」として3日間の観光を楽しむ会を、大阪支部からの参加も得て10月に実施しました。冬季には「スキー同好会」の活動も積極的に行われております。また、「カラオケ同好会」も好評です。

四大行事には多数の参加を期待して参加者の誘致に努力するなど、6名の副支部長の絶大なご協力により活性化に努力しております。本年も、支部活動のさらなる活性化に向けて引き続き取り組みますので、ご期待いただきたいと思います。東京支部の会員諸氏におかれましては、支部の各種催事に奮ってご参加いただきますよう、年頭にあたりお願い申し上げます。

（通信 昭和34年卒）